

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)2月17日
所 属 名:東近江農産普及課東部
番 号:D24023
発 信 者 名:大角、藤原

東近江青年農業者プロジェクト発表大会を開催！

2月7日、東近江青年農業者クラブ(以下、クラブ)主催による令和6年度プロジェクト発表大会が開催され、クラブ、指導農業士会、関係機関等から総勢40名が参加されました。本大会はクラブ員がそれぞれの農業経営において直面する諸問題について自らが把握・整理・問題解決に向けて取り組み、その成果を発表する場です。今年度は、クラブ員によるプロジェクト発表3課題と八日市南高校畜産班の生徒による1課題の発表となりました。

プロジェクト発表課題は、個人から「ザルビオを活用した酒米の可変施肥栽培による収量・品質の安定化の検討」、「ストックの年内出荷に向けた播種時期の検討」、クラブから「東近江 4Hクラブの活性化」の3課題でした。前半2課題は、農業を取り巻く情勢が大きく変化する中で、各々の生産者が経営の安定化を目指し、生産性や収益力の向上を目的とした取り組みを発表されました。また、クラブからは、クラブ員の資質向上と新規クラブ員加入に関わる活動について発表されました。また、八日市南高校生は、「ICT の活用で酪農を楽農へ～牛乳は命の飲み物～」というテーマで、酪農が抱える課題と ICT を利用した対応策について、発表されました。

審査の結果、(株)ファームサポーTo(近江八幡市)の大林浩氏が取り組んだ「ザルビオを活用した酒米の可変施肥栽培による収量・品質の安定化の検討」の課題が最優秀賞を受賞され、3月に開催される県大会へ進むことになりました。

当課は、今後もクラブや関係機関と連携し、プロジェクト活動等の取組支援を通し、農業に関わる「人のすそ野」を広げられるよう取り組みます。



大会の様子



表彰式